

	<p>NPO 法人 京都観光文化を考える会</p> <h1>都草だより</h1>	<p>第36号 発行人：小松香織 編集人：西野嘉一 発行所：京都市上京区 下立売通新町西入 京都府庁日本館2階 電話：075-451-8146</p>
---	--	---

■ 退任のご挨拶ー



平成 19 年 4 月に NPO 法人都草の理事長に就任して以来、10 年の歳月が流れました。10 年というのは大きな節目であり、これを機に理事長を退任させていただくことを決心いたしました。一身上の都合もありますが、やはり都草の世代交代をおしすすめる良い機会だと思ったからです。

幸い、次の理事長を引き受けてくださる小松香織氏は、職業人としての経験は少ないとのことですが、都草に対する情熱は自他ともに認めるどころであり、なんといってもその明るさが都草を元気づけてくれるでしょう。

都草には、深い知識や豊かな経験をお持ちの方がたくさんおられます。また新会員もどんどん入会してこられます。新理事長にはこういった人達の力を信じ、ボランティア精神を絶対に忘れずに、つぎの時代へ向かって進んでいっていただきたいと願っています。

私にとってこの 10 年間は、都草と共に歩み続けてきた充実の日々の連続でした。そして多くの人々と出会い、支えていただき、今日まで来ることができました。

これまでお世話になりました皆様には、言葉では言い尽くせないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は、理事会からご推挙をいただきました特別顧問として、また一会員として都草の活動に参加し、お役にたつことがあれば積極的に協力させていただこうと思っております。

どうぞ今後ともご指導のほど宜しくお願いいたします。(特別顧問 坂本 孝志)

■ 理事長就任のご挨拶ー



まったく思いも及ばないことでしたが、坂本理事長の後任として、この度その重責を恐れながらお引受けすることになりました。

京都検定 1 級合格後すぐに都草へ入会し、頻りに自宅のある豊中と京都間の往復が始まり、気が付けば早や 8 年が経ちました。その間事務局、広報、文化交流部会や大船鉾支援、開発企画委員会、更には理事としての活動等、一心不乱の日々であったような気が致します。

これまで都草創立以来長きにわたり、坂本理事長は意気に燃え、不退転の覚悟と努力で都草をここまで育て上げられました。その八面六臂の大活躍には、敬嘆しますと同時にどれ程感謝してもしきれません。この坂本理事長の下、機宜を得た会員の皆様も、それは生き生きと意欲的に様々な活動に取り組んでまいりました。その結果この京都に、都草は大きく根を張りました。そして、今では各方面から多大な評価をいただいております。

さてこのように歩んでまいりました都草が、今秋には 10 周年記念式典を迎えようとしております。既にスタートした記念事業は、都草会員ならではのその特徴を存分に活かせる絶好の場となって、今後は都草らしい活動の正に核となり成長していくことでしょう。

お受けしましたからには常に感動(ときめき)というトーチを掲げ誇りを胸に、更なる高みを目指す都草という舞台への階を、一步一步会員の皆様と共に登ってまいりたいと思っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。(理事長 小松 香織)

◆◇ 第 10 回都草通常総会を終えて ◇◆



青葉が目に眩しい 5 月 30 日（月）、修復なった京都府庁旧議場において第 10 回都草通常総会が開催されました。第一部では都草顧問の井上満郎先生による「鴨川と京都一暮らしのなかの川の姿」と題するご講演をしていただきました。その後休憩を挟んで岸本理事の司会の下、中江理事が議長に選任され総会の開会が宣言されました。まずはじめに松枝副理事長から出席会員数等の報告があり、議長により本総会が成立することが確認され審議に入り以下 6 件の議案【第 1 号議案 平成 27 年度事業報告、第 2 号議案 平成 27 年度活動計算書の報告、平成 27 年度監査報告、第 3 号議案 定款変更に関する件、第 4 号議案 理事の異動(新任)に関する件、第 5 号議案 平成 28 年度事業計画(案)、第 6 号議案 平成 28 年度活動予算(案)】について担当理事より説明がなされました。それぞれの議案に対する質疑応答の後、これらはすべて可決承認されましたが、本年は都草を創設されこれまでの 10 年まさに都草を牽引してこられた坂本理事長が退任され、小松新理事長が就任という大きな節目の時を迎え組織が大きく変わるといふことで、最後に熊谷副理事長より平成 28 年度の組織体制についての説明があり、無事閉会しました。10 月には都草の創立 10 周年の式典が執り行われ、新生都草の新たな旅立ちを迎えることとなります。これからも充実した魅力ある都草となっていきますよう皆様と共に歩んでまいりたいと考えておりますので、より一層のご支援ご協力のほどをお願い申し上げます。(理事 西野 嘉一)

◆◇ 理事就任のご挨拶 ◇◆



理事を拝命しました伊藤義男です。これまで、主に「美化活動」、「歴史探訪」、「岡崎・市電コンシェルジュ」そして「祇園祭の大船鉾支援」のお手伝いを中心に活動して来ました。この度、理事という大役を仰せつかり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

担当する業務は、「大船鉾支援」をはじめとする伝統文化支援業務と「京都駅」、「河原町まちなか」、「井筒八ッ橋」、「岡崎市電」、「ホテル」などでの案内業務を主とする受託事業で、都草の顔となる業務です。経歴も浅くまだまだ未熟者ですが、幸いなことにそれぞれの業務には頼りになるリーダーがおられます。また、都草には知識・経験とも豊富な会員が揃っていらっしゃると思いますので、皆様の力を拝借しながら、都草の発展に一役買えればと考えています。ご協力をよろしく申し上げます。(理事 伊藤 義男)

◆◇ 第 4 回ガイド現地研修会（安祥院、仏所定慶、富田工藝、六波羅蜜寺） ◇◆



4 月 25 日（月）中江理事の案内で 21 名の会員が研修地を巡りました。「安祥院」は通称日限（ひぎり）さんとも言われ地蔵尊が信仰を集めています。ご住職より寺の来歴を伺い中興の祖である養阿上人の絵巻物や笠や鉦などの展示物を見せていただき、その生涯にしばし思いを馳せました。仏像修復を手掛けておられる「仏所定慶」は定慶氏のご自宅兼工房。古い仏像の傷んだ部分を解体し修復しておられる作業の実際は大変興味深く且つその精密さに驚きました。五条通に面した「富田工藝」は工房兼ギャラリーに多数の仏像が展示されており、富田 睦海氏の仏像制作や技法、現在の取組などについて話を伺いました。熱く語る姿に仏像彫刻師としての自負を感じ応援したくなりました。「六波羅蜜寺」では国宝の十一面観音立像や重要文化財の薬師如来坐像や空也上人立像等すべての木像彫刻に魅了され、満たされた時間を過ごすことができました。(会員 寺村 いく子)